

令和4年(2022年)9月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2022年9月 数量 (トン)	2022年9月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	北海道産中心の入荷でした。天候の影響により生育不良となったため数量は減少しました。平均単価は大幅に高く推移しました。	655	218	87%	186%
2		キャベツ	群馬(嬭恋)県産を中心に、北海道産、長野県産、茨城県産、山梨県産等の入荷でした。数量はやや減少しました。平均単価はかなり安く推移しました。	842	81	91%	69%
3		トマト	前年の出荷量が少なかったこともあり、数量はかなり増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	583	453	129%	95%
4		なす	群馬県産、栃木県産を中心に、福島県産、山梨県等の出荷でした。数量は前年並みで、単価はかなり安く推移しました。	93	323	102%	71%
5		たまねぎ	北海道産中心の入荷でした。数量はかなり減少し、平均単価は高く推移しました。	573	120	70%	114%
6	果実	ぶどう	着果が良く、房数として伸び数量は増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	148	1,361	120%	96%
7		りんご	生育が順調で、品種問わず大玉傾向となり数量はやや増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	202	285	104%	92%
8		なし	りんごと同様に生育が順調で数量はかなり増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	497	309	128%	92%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上